

## 個別最適な学び研究部会 授業実践【重点授業】

令和4年10月5日 5年2組 授業者：岸本 拓也

教科：算数 単元名：分数と小数、整数の関係を調べよう 本時：3／6

単元の目標：整数の除法の結果を分数で表すこと及び分数と小数、整数の関係について理解し、分数の表現に着目してこれまで学習した分数の意味をまとめる。  
除法の結果を分数で表したり分数と小数、整数の関係について考えたりした過程を振り返り、その良さに気づき今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。

### 1 部会の目標（高学年）

自ら課題を考え、多様な手段から自分に最適な方法を選んで取り組み、振り返って次に繋げる児童を育てる。

### 2 本時の学習について

#### （1）児童の実態

- 自由進度学習について、肯定的に感じている児童が26人中、24人。
- 肯定的に考えている児童は、友達と教え合いながらできるので良い・苦手な所を自由に勉強できた・自分のペースでできた・分かる問題を先に進められた・めあてを立てる力がついた・苦手な人は先生とできると回答している。
- あまり肯定的に感じていない2人は、自由進度学習のやり方が少しわかりにくい・一斉授業より自由進度学習の方が難しいと回答している。

#### （2）目指す児童の姿

- 一人一人が、自分に合った成長できるめあてを立てることができる。
- この時間に、自分で取り組みたい方法を考え、意欲的に取り組むことができる。

#### （3）これまでの取組

- 算数の時間に、Qubena・プリント・補充問題・問題を自作・友達が作った問題を解くなど、多くの学習方法に取り組みせ、自身の選択肢を増やした。
- ロイロノートに、個々のめあてを立てる癖をつけることができるよう、時間を確保した。教員が型を作成し、随時変更している。
- 45分の流れを提示し、定着させた。
  - 10分→学習内容を先生からみんなに伝えるミニレッスン・個々のめあてを立てる。
  - 25分→自身のめあてに応じた学習に取り組む。
  - 10分→丸付けと振り返り。
- めあてをロイロノートで共有し、他の友達がどのようにめあてを立てているのか、視覚的に分かるようにし、参考しやすい環境を作った。
- 単元で身につけるべき内容・取り組むべき問題をアンケート機能で伝え、確認できるようにさせた。

### 3 授業における手立て

- 自身が成長できるめあてを立てて、ロイロノートに記入する（具体的には、ぎりぎり達成できるくらいのめあてを立てる）ことができるようにめあてを立てた時点で一度提出し、教員が見取る。抽象的・簡単すぎる・難しすぎるめあてについては、個別に指導する。



- 今回取り組んでいる方法について、これまでのやり方と比較し、めあてに沿っているかの確認をする場面を設定する。

### 4 指導者から

- 支援が必要な子への指導について、教師が苦手な子に個別に教えていた。
- 教材を多様に用意しておき、それぞれが選べるようになっていた。
- めあての確認が難しい
- グループのまとめり方の根拠があった方がよい。
- めあてや目標が共有できるグループの方がよい→めあてを見えるようにして、同じ友達とグループになれるとよい。

### 5 成果○と課題●

- 児童全員が主体的に取り組んでいた。
- 算数への苦手意識がなくなり、できるようになりたいと思う児童が増え、自主的に算数の予習をしてくる児童が増えた。
- 教員からの指示を待つのではなく、自分で考え、次につなげようとする児童が増えた。
- 与えられた量をこなすのではなく、演習問題を沢山取り組むことができた。（教科書の問題だけでなく、プリントや Qubena など）
- 児童が選んだ学習内容や取り組み方が、最適ではなかったように感じた。  
→何度もめあてを立て、振り返りをする中で、自身に最適な方法を見つけるようにする。
- グループ編成が、意図的・効果的でなかった。  
→今日取り組むこと・行いたい学習形態をロイロノートで共有し、その上でグループなどを作るようにする。
- 一人で学習をしている児童が、きちんと勉強できているのか不明瞭だった。  
→机間指導や、単元の途中で見とる。

- 目標が、活動内容になってしまっていた。  
→どんな力をつけたいのか、書くように意識させる。また、教科書に対応する身につけたい力を視覚的に分かるように掲示物を作成する。
- 学びを伝えるという対話できていない。  
→レポートを作成し終わったら、どんなことが分かったのか、話し合う時間を設定する。
- 児童が行う問題作成に、あまり教育的価値がないように感じた。  
→自身が理解を深めるために、問題作成をすることを再度伝える。また、今までの問題作成の時間を、レポート作成の時間に回すようにする。
- プリント・キュビナ共に、教科書のどの内容と関連づけられているのか、分かるよう  
り組みやすい。  
→すべてに、教科書の対応ページの記入を行う
- その時間に分かるようになってほしいこと、できるようになってほしいことを明確  
にできると良い。  
→掲示物を作成する。
- 評価の方法を、ペーパーテスト以外で設ける必要がある。  
→ペーパーテスト前に、レポートに取り組ませてみる